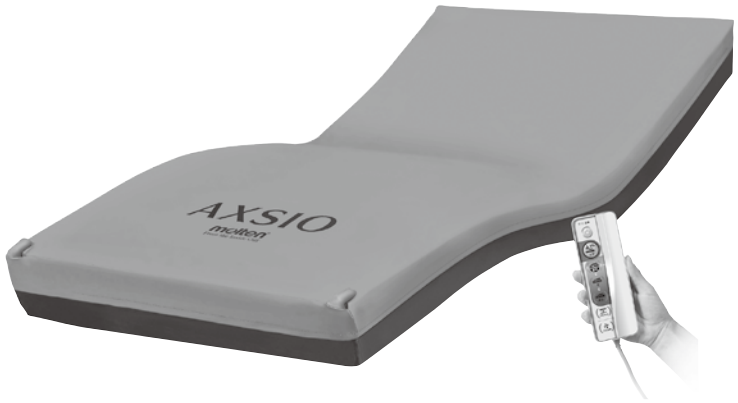
molten®
From the Inside Out

高機能エアマットレス

アクシオ

取扱説明書



この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用の前に取扱説明書を確認の上、正しくお使いください。確認後は、本取扱説明書を大切に保管してください。

アクシオについて

対　象　者：体動が少ない人（一部介助）～体動のない人（全介助）
用途･特徴：①仰臥位の圧対策（静止-体圧調整／除圧-圧切替）
　　ベッド背上げ時の底づき･背抜き対策
　　②寝床内のむれ対策

上記以外の対象者や用途では使用しないでください。
上記以外の対象者または用途で使用している場合は、直ちに使用を中止してください。
利用者様の身体状況や環境が変化した場合には、医師や看護師に相談し適切な処置を受けてください。
製品を適切に使用していただいても床ずれを防止できないことがあります。

安全上の注意 必ずお守りください

①利用者様や他の人への危害･財産への損害などを未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
取扱説明書に表示されている記号や用語は、表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分であらわしています。

⚠ 警告：死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

⚠ 注意：障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

②お守りいただく内容の種類を次の表示区分であらわしています。

⃠ ：してはいけない「禁止」を意味します。

(!) ：必ず実行していただく「強制」を意味します。

はじめに
○安全上の警告･注意事項……P1
○各部の名称 ……P2

運搬･設置するときに
○製品の持ち方 ……P3
○設置の方法 ……P3

使用するときに
○リモコンの操作および機能の説明 ……P5
【各種設定方法】
・ケアモード ……P5
・動作モードと動作内容 …P5
・やわらかモード ……P6
○ベッド上でのポジショニングについて ……P6

このようなときに
○緊急時の対応方法 ……P7
○停電時の対応方法 ……P7
○故障かなと思ったら ……P8
○注意ランプの光り方 ……P9

保守･点検するときに
○お手入れの方法 ……P10
○電源コードおよびリモコンの収納方法･交換方法 ……P11
○点検項目一覧表 ……P12
○自動点検の方法（セルフチェックモード）…P13
○収納の方法 ……P14
○保管の方法 ……P14

仕様
○仕様 ……P15

安全上の警告・注意事項

⚠ 警告

運搬・設置するときに

①電源の電圧および許容電流値に注意してください。
本製品は国内専用AC100V、13Wです。故障や発熱による事故につながるおそれがありますので、海外で使用しないでください。
やむを得ず発電機を使用する場合は、出力波形が家庭用電源（正弦波）に近いインバータ式を使用してください。
なお、発電機の使用によって製品に故障や破損が生じた場合は、当社の保証対象外となりますことをあらかじめご了承ください。

②ベッドの幅や長さに合わせたサイズのものを使用してください。
サイドレールやヘッド、フットボードなどとの隙間にはさまり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

③ベッドで使用する場合は、安全のため必ずサイドレールを使用してください。
また、マットレス上面より高さ22cm未満のサイドレールは使用しないでください。
サイドレールを乗り越えて転落するおそれがあります。

④マットレスの頭側・足元側を間違えないでください。
音や振動が伝わり、寝心地を損なうおそれがあります。また、本来の性能が発揮されず、症状の悪化や思わぬ事故をまねくおそれがあります。

⑤電源プラグは、奥までしっかり挿し込んでください。
感電につながるおそれや燃えやすい物が近くにあると火災につながるおそれがあります。

⑥電源プラグを濡れた手で抜き挿ししないでください。
感電や故障、発火につながるおそれがあります。

⑦電源コードを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
電源プラグの変形や断線から感電や故障、発火につながるおそれがあります。

⑧電源プラグは、タコ足配線をせず、コンセントに直接差し込んでください。
故障や発熱による事故につながるおそれがあります。

⑨ストーブやコンロなどの熱源、または高温になる場所の近くには置かないでください。
変形・故障・火災につながるおそれがあります。

⑩ベッドや機器類のキャスターなどで電源コードやリモコンコードをはさまないでください。
感電や故障、発火につながるおそれがあります。

使用するときに

⑪お客様による修理、改造は行わないでください。また、指定外の部品は使用しないでください。
感電や故障、発火につながるおそれがあります。

⑫内蔵式ポンプユニットやリモコンに水やその他液体をかけたり、濡れた手で触ったりしないでください。
感電や故障につながるおそれがあります。

⑬電源プラグにほこりを付着させないでください。
ほこりが付着していると、感電や火災につながるおそれがあります。定期的に乾いた布などで取り除いてください。

⑭マットレスの中心から外れた位置で寝ないでください。
本来の性能が発揮されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。やむを得ない場合は、除圧効果や体位の崩れなど安全を確認の上、使用してください。

⑮周辺機器のコードやチューブ類が、本製品とベッド、またはサイドレールの隙間に挟み込まれないようご注意ください。
背上げ時に、コードやチューブがつぶれたり抜けたりなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⑯マットレスの上で端座位や移乗を行う場合には、必ず介助者の方の立ち会いのもと行ってください。
ベッドからの落下・転落のおそれがあります。

⑰MRI装置など強い電磁波が発生する場所では使用しないでください。

⑱マットレスを長期間使用しないときやお手入れをする場合は、必ず電源プラグをコンセントから外してください。
感電や故障、発火のおそれがあります。

⚠ 注意

運搬・設置するときに

①マットレスの上に厚手のベッドパッドなどを敷かないでください。
本来の機能が発揮されません。

②本製品の内蔵式ポンプユニットに他の製品を接続して使用しないでください。
本来の機能が発揮されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

使用するときに

③リモコン操作は、製品をよくご理解の上、行ってください。

④多汗症（疾病により汗が多い）の方がむれ対策機能を使用する場合は、気化熱により体温が低下する場合がありますのでご注意ください。
むれ対策は、エアマットレス特有の弱点を対策するための製品仕様の一部で、温度調整機能や冷房機能ではありません。

⑤電気毛布などを併用する場合は、床ずれのある部位や、発生するおそれのある部位を避けて使用してください。
床ずれの発生や悪化のおそれがあります。

⑥電気毛布を使用する場合は、低温やけどに十分ご注意ください。
低温やけどは、一般的に約40℃の温度に2時間以上触れ続けることで発症する場合があるとされています。

安全上の警告・注意事項

注意

使用するときに

①針などの鋭利なものを接触させたり、突起物を置かないでください。
マットカバーの破れ、エアセルの穴あきの原因になり、本来の性能を発揮しないおそれがあります。

②リモコンコードを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
故障につながるおそれがあります。

③リモコンなど、製品を落下させたり、ぶつけたりしないでください。
故障や破損の原因になります。

保守・点検するときに

④マットレスを持ち運ぶ場合や保管時には、電源コードとリモコンをマットカバーの収納ポケットにおさめてください。
落下やほこり、静電気などにより故障につながるおそれがあります。

⑤折りたたんで収納する場合は、P14に記載の収納方法に従ってください。
指定以外の方法で折りたたむと、破損・変形するおそれがあります。

⑥浴室付近や湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。
サビ・カビの発生や故障の原因になります。

⑦メンテナンス目的以外でマットレスを分解しないでください。
破損や故障につながるおそれがあります。

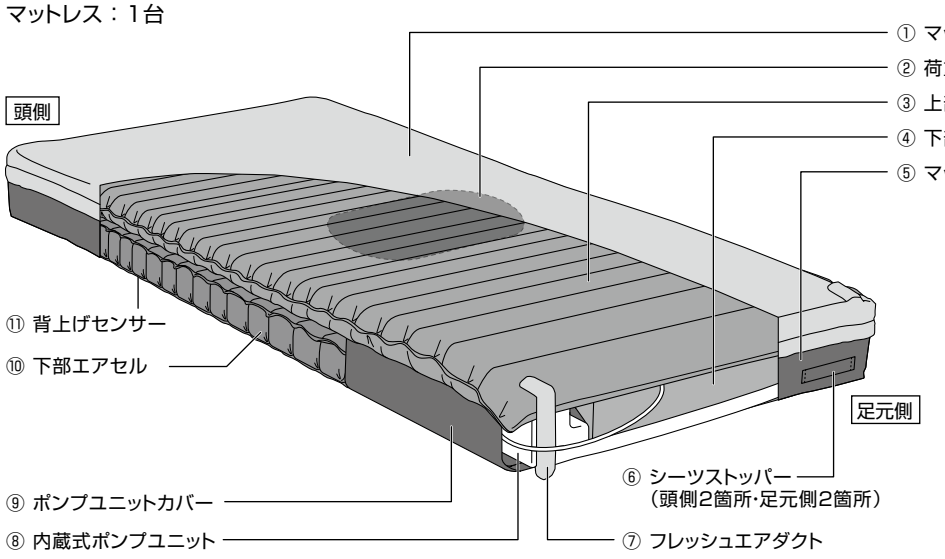
仕様

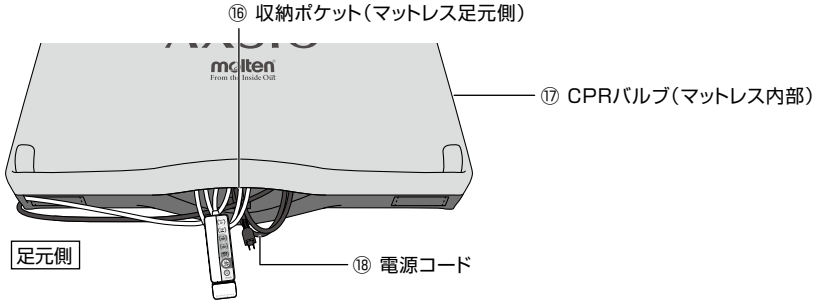
⑧製品は体重30kg以上の方の使用を想定しています。製品の耐荷重は180kgです。
対象外の方が使用した場合は、本来の性能が発揮されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
体重180kgの方でも、底づきすることなく安全に使用していただけます。

各部の名称

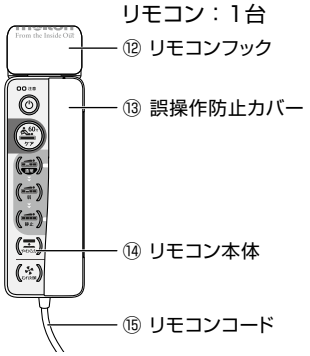
以下の部品が全てそろっているか、破損・変形などしていないかを確認してください。
万が一、部品の不足・破損があった場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

マットレス：1台





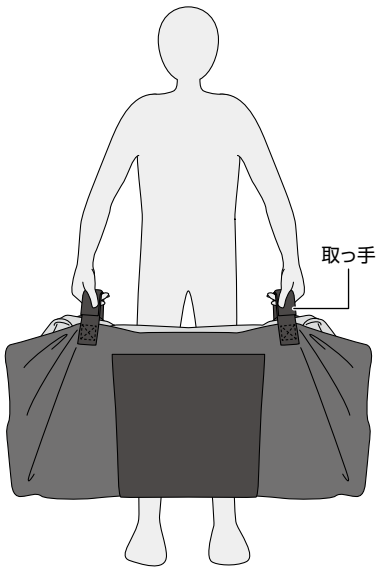
リモコン：1台



製品の持ち方

運搬する場合は、右図のように取っ手を持ってください。

- ⃠ 内部のエアセルやエアホースの破損につながるおそれがあるので、マットカバーの表側を持って運搬しないでください。
- ⃠ エアホースが抜けるおそれがあるので、マットカバー裏側にあるエアホースを持って運搬しないでください。
- ⃠ 変形や破損につながるおそれがあるので、重量物を上に置いたまま保管しないでください。
- ⓘ 材質や色が変化するおそれがあるので、直射日光の当たらない場所で保管してください。
- ⓘ 電源コードとリモコンをマットカバーの収納ポケットにおさめてください。

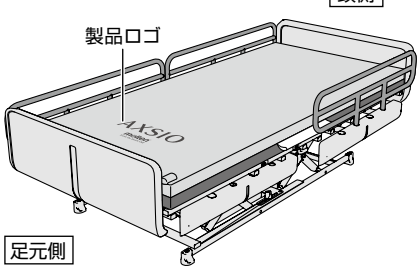


注意　浴室付近や湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。
※サビ・カビの発生や故障の原因になります。

設置の方法

1　マットレスを設置します。

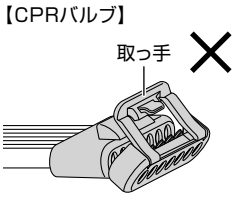
ベッドの上に直接マットレスを置いてください。



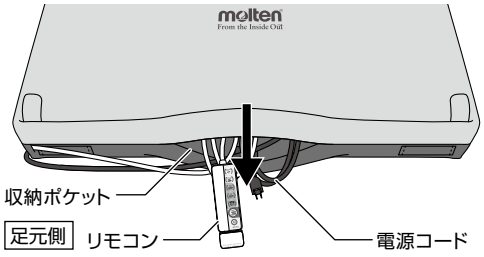
⚠ 警告

①安全のため必ずサイドレールを使用してください。
②マットレスは表裏と頭側と足元側を確認し設置してください。製品ロゴが表面、足元側です。
正しくない場合は、本来の性能が発揮されず症状の悪化や思わぬ事故につながるおそれがあります。
③本製品はリプレイスメントタイプ（ベースマットレス不要）です。必ずベッドの上に直接設置してください。
④マットカバーは必ず装着して使用してください。外して使用すると本来の性能が発揮されず症状の悪化や思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意　CPRバルブが確実に閉じていること、およびエアホースが正しく接続されていることを確認してください。
※繋がっていない場合は、エアセルに空気が入らず注意ランプが点滅します。



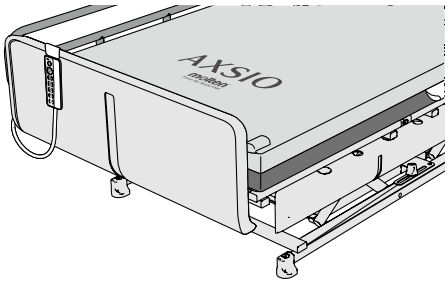
2　電源コード・リモコンを取り出します。



マットレス足元側の収納ポケットから電源コードとリモコンを取り出してください。

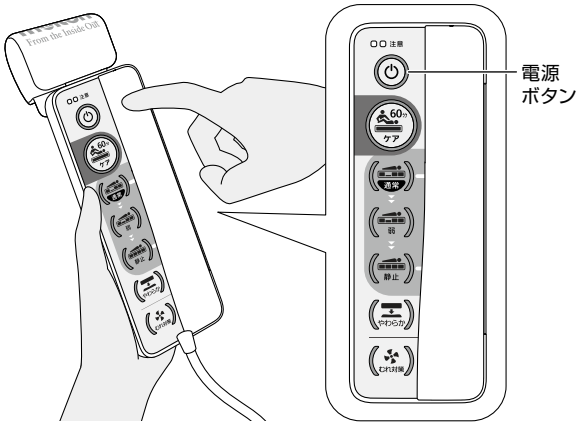
3 リモコンをフットボードに掛けます。

リモコン上部のリモコンフックを、ベッドのフットボードに掛けてください。



> **注意** リモコンは寝床の中に入れないでください。
> 意図せずボタンが押され、設定が変更されるおそれがあります。

4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてください。

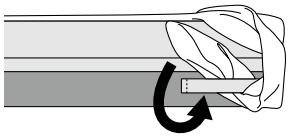


①電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源ボタンを押してください。

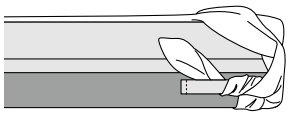
ⓘ 使用中は必ず電源プラグをコンセントに差したままにしておいてください。

5 シーツの取り付け

四隅のシーツストッパーにシーツを留めることで、シーツがずれにくくなります。



シーツの角を下からシーツストッパーの間に通し、ピンと張ります。
もう一度シーツの角を下からシーツストッパーに通し固定します。



余ったシーツをマットレスの裏側に差し込んで全体を整えます。

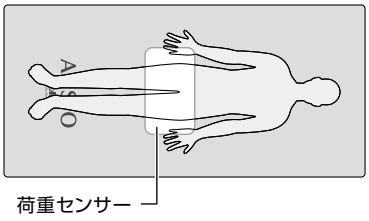
基準シーツ ……フレッシュエアダクトごと覆い、シーツの端を巻き込んでください。
ボックスシーツ ……フレッシュエアダクトごとマットレス全体を包み込むようにかぶせてください。
防水シーツ ……フレッシュエアダクトを覆わないように取付けてください。
フレッシュエアダクトから出る空気が妨げられ、除湿機能が発揮できません。

> **注意** シーツの張りすぎに注意してください。本来の性能が発揮されないおそれがあります。

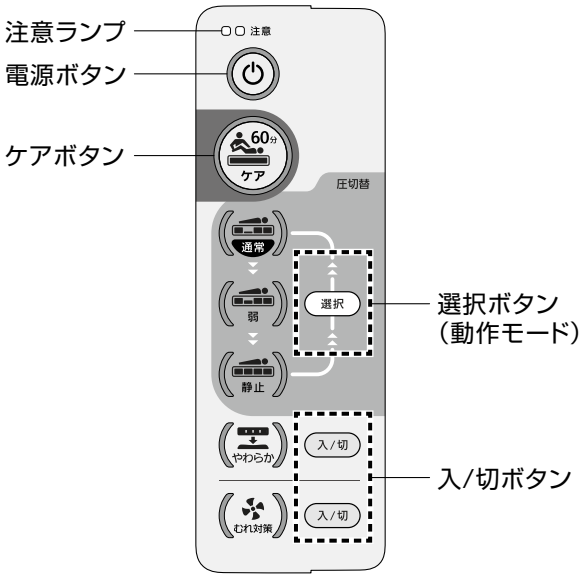
6 利用者様に寝ていただけます。

リモコンの電源ボタンが点灯したら、マットレスの中央部に寝て使用してください。

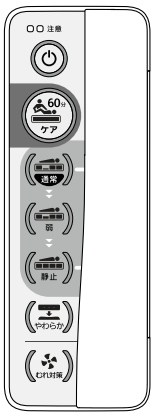
※利用者様の身体状況などにより中央部に寝られない場合は、除圧効果や体位の崩れなど安全を確認の上、使用してください。
※製品の耐荷重は180kgです。



リモコンの操作および機能の説明



【誤操作防止カバーを閉じた状態】



使い始め

① 電源ボタン

電源ボタンを押すと電源が入り、リモコン各部のLEDが点灯します。
もう1度押すと電源が切れます。

※再度電源を入れ直した場合は、前回の設定状態となります。停電の場合も同様に、停電前の設定状態になります。
※準備中（約40分間）はLEDが点滅します。

② 注意ランプ

マットレスの異常をLEDの点滅と警告音でお知らせします。（P9参照）

リモコンの操作方法

ケアモード

マットレスの安定性を高め、リハビリや介助をサポートします。

※エアセルの内圧を上げ、圧切替動作を停止します。
※準備中（約5分）はLEDが点滅し、準備完了後にLEDが点灯します。
※ケアモードは安全のため約60分で自動解除されます。

動作モードと動作内容

【通常】
エアセルが圧切替動作を行います。（おすすめの設定）

【弱】
圧切替動作を小さく、低速で行います。
通常でご使用時、圧切替によって痛みを訴えられる利用者様向けの設定です。

【静止】
圧切替動作を停止します。
弱でご使用時、圧切替によって痛みを訴えられる利用者様向けの設定です。

リモコンの操作および機能の説明

やわらかモード

【やわらか】
通常・弱・静止のすべてのモードにおいて、エアセル内圧を下げ、1段階やわらかく設定します。

むれ対策

【むれ対策】
室内の空気を足元側から送って寝床内の湿った空気を換気することで寝床内の「むれ」を対策します。
ON時は30分動作⇔15分停止を繰り返し行います。

マットレスの安全機能

マットレスに内蔵された各種センサーにより使用状況を判定し、最適な状態に調整します。

①利用者様の体重に合わせて最適なエアセル内圧に自動調整します。

②マットレスに内蔵された背上げセンサーによりベッドの背上げ状態を判定します。
ベッドが30°以上の背上げ状態になると、自動で背上げモードになります。
30°以下になると、背上げモードは解除されます。
背上げモードではマットレスを少しかたくして背抜き（圧切替動作）を行い調整します。
調整後は元の設定で作動します。背上げモードが解除されるときも背抜き（圧切替動作）を行い調整します。

ベッド上でのポジショニングについて

ポジショニング（体位変換+体位保持）保持の目的

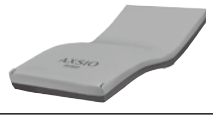
廃用症候群予防
床ずれ防止（体圧分散や除圧）
拘縮予防、肺炎予防
浮腫予防
内臓機能低下予防

日常生活ケア
食事、口腔ケア
おむつ交換
身体清拭、着替え
移乗

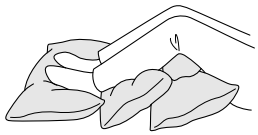
QOLの向上
コミュニケーションによる安心感
関節不動による苦痛改善
不眠改善、意識改善
むれ・暑さ対策

【体位変換・体位保持】3つのポイント

1 **厚みのある体圧分散式マットレスを使用する**
ポジショニングが必要な人は、自分の力では動けない人、介助が必要な人と言えます。
よって、使用するマットレスは体圧分散+除圧がある「エアマットレス」をオススメします。



2 **マットレスと身体の間（隙間）をクッションで埋める**
隙間を埋めることで、マットレス及びクッションと身体の一体感が出て体圧分散性が向上し、身体にかかる外力を減らすことができます。
小さな隙間は体圧分散式パッドなどを使って埋めてください。

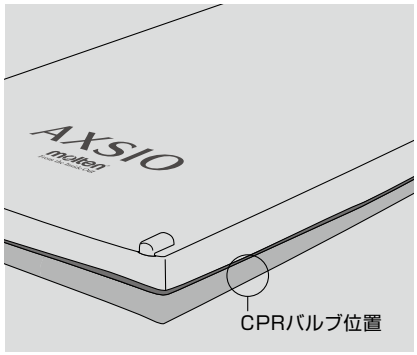


3 **利用者様にとって楽な姿勢かどうか、実際にケア従事者様が体験し、確認してみる**
ケア従事者様が実際に利用者様と同じ姿勢を取ることで、楽かどうか、体圧分散や除圧ができているかどうかわかります。

緊急時の対応方法

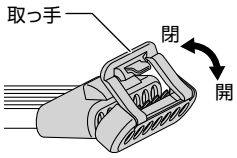
心臓マッサージなど緊急でマットレスの空気を抜きたい場合は、CPRバルブを開くと
マットレスの空気を急速に抜くことができます。

空気が抜けるまで
約30秒



CPRバルブは足元側から見て右側のCPR表示ラベルそばにあります。
CPRバルブの取っ手を持って開けてください。約30秒で空気が抜けます。
緊急エア抜きを使用した後、必ずCPRバルブを閉めてください。

【CPRバルブ】



停電時の対応方法

停電時でも利用者様が寝た状態のまま約2週間はエアを維持します。
また、停電復旧後には停電前に設定していた条件に戻るので、再設定の必要がありません。

やむを得ず発電機を使用する場合は、出力波形が家庭用電源（正弦波）に近いインバータ式を使用してください。
なお、発電機の使用によって製品に故障や破損が生じた場合は、当社の保証対象外となりますことをあらかじめご了承ください。

故障かなと思ったら

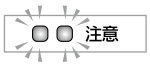
現　象	確認方法	処　置
エアセルがふくらまない 柔らかすぎる 体が沈み込んでしまう	電源プラグはコンセントに差し込まれて いますか?	電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの 電源ボタンを押してください。(P4参照)
	エアセルが折れていませんか?	エアセルを整えてください。
	エアホースが外れていませんか?	ポンプユニットおよびエアセルをつなぐエアホースを 確認し、抜けている場合は、差し直してください。
	エアホースが折れていませんか?	エアホースを交換してください。
	CPRバルブが開いていませんか?	CPRバルブを閉じてください。
リモコン操作ができない	リモコンのLEDランプが消えていませんか?	電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの 電源ボタンを押してください。(P4参照)
寝床内が寒い	フレッシュエアダクトから除湿用の空気が 出ていますか?	むれ対策の設定を【切】にしてください。(P6参照)
寝床内が暑い	むれ対策の設定が【切】になっていませんか?	むれ対策の設定を【入】にしてください。(P6参照)
	フレッシュエアダクトのエアホースが カバーの中で外れていませんか?	カバーを開き、中にあるエアホースを接続してください。
	フレッシュエアダクトの上に防水シーツなど 通気性がない物をかぶせていませんか?	フレッシュエアダクトを避けてかぶせるか、 通気性のある物を使用してください。(P4参照)

**上記の処置で直らなかった場合、またはその他の現象の場合は、お求めの販売店または
㈱モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。**

株式会社 モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口
TEL(082)578-9226
〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日／9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

注意ランプの光り方

注意ランプが交互点滅する場合



ブザーが鳴り、注意ランプが交互点滅する場合は、エアもれや空気の流れに不具合がある可能性があります。このようなときには、以下の項目を確認してください。
注意表示中はエアセルの空気を遮断します。（マットレスの動作は停止します。）

●注意ランプが交互点滅し、【やわらか】が点滅

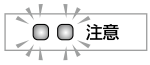
確認箇所	現　象	処　置
上部エアセル 下部エアセル	エアセルの途中が変形（折れなど）して いませんか?	変形している場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
エアホース	エアホースに変形（折れ）が ありませんか?	エアホースが抜けている場合は、接続しなおしてください。 エアホースが変形している場合は、交換してください。

●注意ランプが交互点滅し、【むれ対策】が点滅

確認箇所	現　象	処　置
上部エアセル 下部エアセル	エアセルの一部から 空気がもれていませんか?	エアもれしている場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
エアホース	エアホースに抜けや破損が ありませんか?	エアホースが抜けている場合は、接続しなおしてください。 エアホースが破損している場合は、交換してください。
CPRバルブ	CPRバルブが開いていませんか?	CPRバルブを閉じてください。
ポンプユニット	ポンプユニットから異音が聞こえますか?	ポンプユニットの内部に問題がある場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

※エアホース：エアセルとポンプユニットを接続するホース

注意ランプが同時点滅する場合



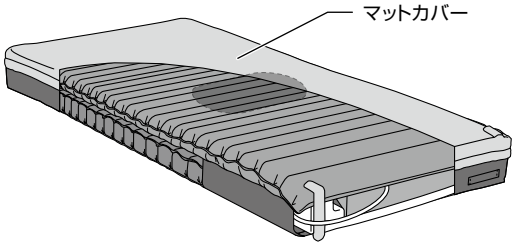
ブザーが鳴り、注意ランプが同時点滅する場合は、ポンプユニット内部や各種センサーに不具合がある可能性があります。お求めの販売店または㈱モルテンまで修理をご依頼ください。

注意ランプとLEDの状態	不具合内容と注意表示中の動き
注意ランプ+【電源+ケア以外全部】が同時点滅	リモコンケーブルまたは内部基板関係の異常 エラー中は「圧切替 通常」で動作します。
注意ランプ+【圧切替 通常】が同時点滅	圧力センサー異常 エアセルの空気圧の調整を停止し、空気を保持します。 （体圧調整や圧切替はしません）
注意ランプ+【圧切替 弱】が同時点滅	荷重センサーの異常 リモコンの設定に従って動作します。
注意ランプ+【圧切替 静止】が同時点滅	背上げセンサーの異常 リモコン設定に従って動作します。ただし背上げは検知しません。

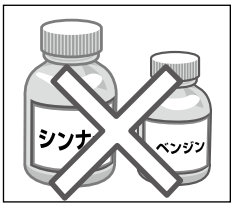
※ボタン操作または電源OFF（コンセントを抜く）で音を消すことが可能です。
電源ボタンの操作、電源OFF（コンセントを抜く）で音を消した場合は、リモコンのLEDは正常に戻り一定時間後に再び注意表示と音が鳴ります。
電源OFF以外のボタン操作で音を消した場合は、リモコンのLEDは注意表示のままで音のみが消えます。

汚れの落としかた

汚れが少ない場合は、マットカバー表面を市販の中性洗剤やアルコールを布に含ませて清拭してください。
汚れがひどい場合は、マットカバー上部またはマット全体を取り外し、洗濯機などで丸洗い洗浄してください。
洗浄後は乾燥機による乾燥または陰干ししてください。
※マットカバーとポンプユニット・背上げセンサー・荷重センサーを取り外してください。

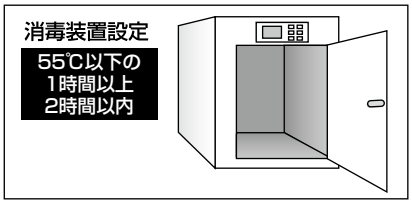


⃠ エアセル・ポンプユニット・背上げセンサー・荷重センサーなどの内部構成部品は洗浄しないでください。
※下部フォームを洗浄する場合は、事前にお求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
⃠ シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
⃠ 酸性洗剤は素材を傷めるおそれがあるので使用しないでください。
⃠ 漂白剤は色落ちや変色の原因になるので使用しないでください。
⃠ マットカバーが縮むおそれがあるのでドライクリーニングはしないでください。
! マットカバーを洗濯機で洗う場合は、キズが付くおそれがあるのでネットを使用してください。
! マットカバーを洗浄・乾燥する場合は、縮むおそれがあるので必ず80℃以下で行ってください。
! 塩素系洗剤を使用する場合は、表示の注意事項および濃度を確認し希釈して使用してください。
濃度が高い場合は、マットカバーが変色するおそれがありますのでご注意ください。



消毒のしかた

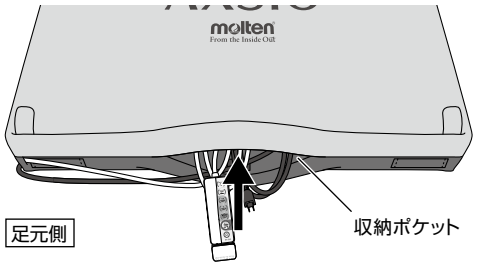
消毒薬やアルコールを噴霧または布に染み込ませて清拭してください。
消毒装置を使用する場合は、分解せずそのままの状態でオモテ面を上にして平置きの状態で曲げずに装置に入れてください。
温度設定は《55℃以下の1時間以上2時間以内》に設定してください。
装置に入れるときは電源プラグを抜き、電源コードはマットカバーの収納ポケットにおさめてください。



⃠ マットレスを消毒装置に入れる場合は、変形や破損のおそれがあるので、55℃以上の温度にしないでください。
⃠ マットレスを消毒装置に入れる場合は、サビやカビの発生や故障の原因になるので、蒸気などの水分が残る消毒は行わないでください。
⃠ マットレスをオゾン消毒する場合は、ウレタン層が劣化するおそれがあるので、高濃度（5ppm以上）で長時間の消毒は行わないでください。

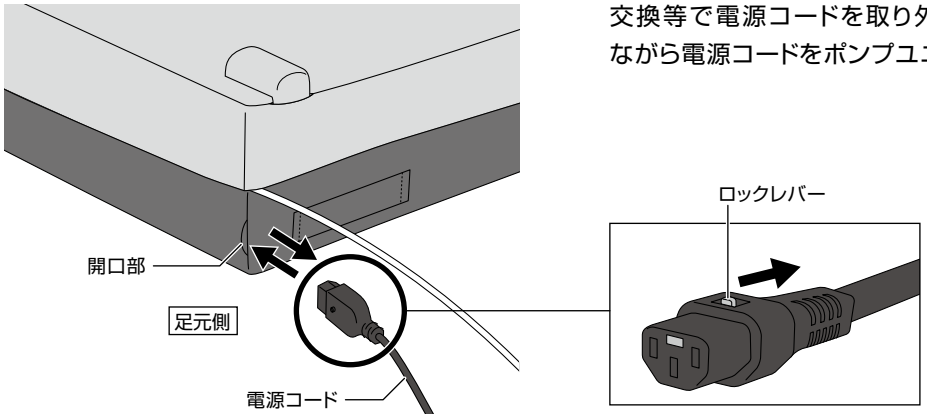
電源コードおよびリモコンの収納方法･交換方法

1 電源コード･リモコンの収納方法



長期間使用しない場合は、マットレス足元側の収納ポケットへ電源コード･リモコンを収納してください。

2 電源コードの交換方法



交換等で電源コードを取り外す場合は、ロックレバーを引きながら電源コードをポンプユニットから抜いてください。

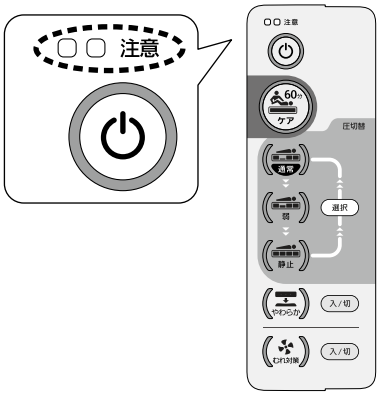
電源コードをポンプユニットに接続する場合は、マットカバーの開口部を通してください。

●モニタリングの場合などに行う点検要領

1.動作の点検

1 注意ランプの動作

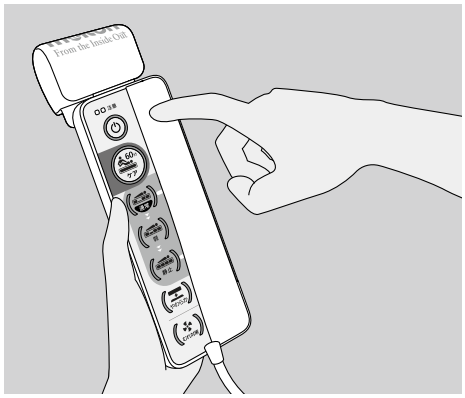
結果：異常あり / 異常なし



注意ランプが点滅していないことを確認します。

2 リモコンの動作

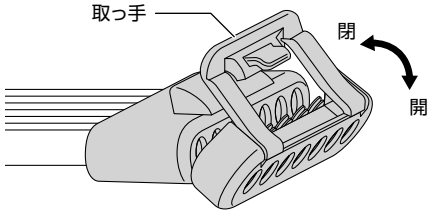
結果：異常あり / 異常なし



リモコン各部の動作、ボタンの異常などを点検します。
異常ありの場合は、修理に出してください。

3 CPRバルブ

結果：異常あり / 異常なし

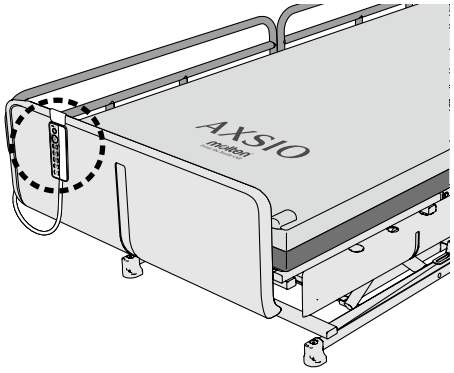


CPRバルブが確実に閉じていること、およびエアホースが正しく接続されていることを確認します。
※足元側から見て右側

2.本体各部の点検

4 リモコン設置場所の点検

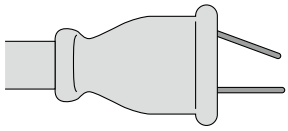
結果：異常あり / 異常なし



設定が変わってしまうおそれがあるため、リモコンはフットボードまたはサイドレールに掛けてあるか確認します。

5 リモコンコードと電源コード

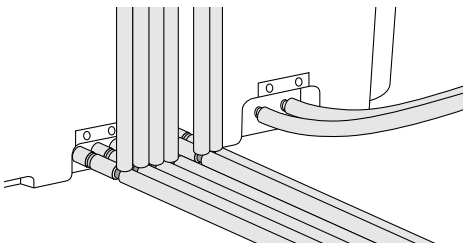
結果：異常あり / 異常なし



コードやプラグに変形や折れなどの破損がないか点検します。
異常ありの場合は、電源コードを交換してください。

6 エアホース
※エアホース：エアセルとポンプユニットを接続するホース

結果：異常あり / 異常なし



各種エアホースが外れていないことを確認します。

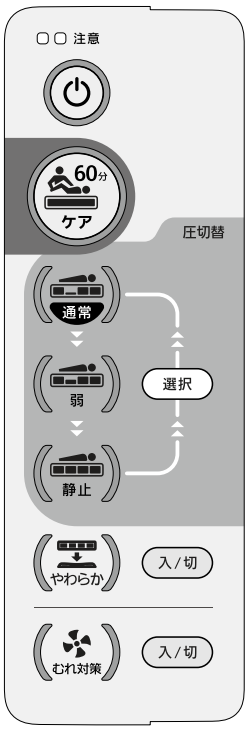
※エアホース外れがないか点検してください。

自動点検の方法（セルフチェックモード）

マットレス各部の簡易点検を自動で行います。
（所要時間：約50分）

注意	セルフチェックを行う場合は、正確に測定するため、フラットなベッドの上、または平らな場所にマットレスを置き、利用者様が寝ていない（無荷重の）状態で行ってください。

操作方法とチェック内容



①【電源】をOFFにします。

②【ケア】を押した状態で、【電源】を押すとセルフチェックを開始します。

③セルフチェック中は 注意【注意】、【電源】、【ケア】の各LEDが同時に点滅します。

④全てのチェックで異常なく終了した場合は、注意【注意】、【電源】、【ケア】の各LEDが点灯します。

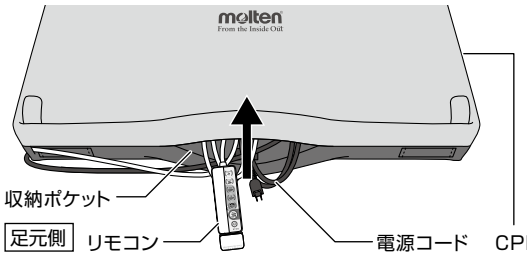
※セルフチェックの結果、異常がある場合は、【ケア】のLEDが点滅し、ブザーが鳴ります。
また、異常がある箇所を示すLEDが点灯してお知らせします。

⑤セルフチェックを終了または中止する場合は、【電源】をOFFにします。

異常時のLED点灯箇所と不具合の内容

LEDランプの状態	不具合内容
【ケア】点滅+【圧切替 通常】点灯	圧力センサーの異常
【ケア】点滅+【圧切替 弱】点灯	荷重センサーの異常
【ケア】点滅+【圧切替 静止】点灯	背上げセンサーの異常
【ケア】点滅+【やわらか】点灯	上部エアセル･下部エアセル･エアホースの異常
【ケア】点滅+【むれ対策】点灯	上部エアセル･下部エアセル･エアホースの異常 CPRバルブの異常

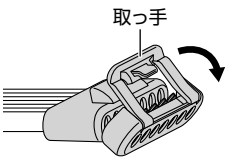
収納の方法

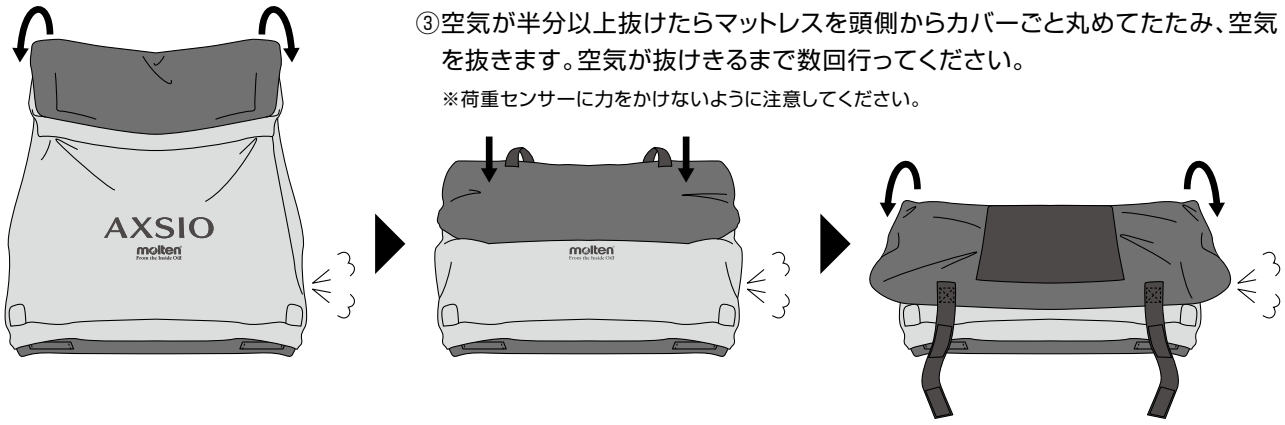


①電源コードとリモコンを収納ポケットにおさめてください。

②足元側から見て右側にあるCPRバルブを開き、マットレスの空気を抜いてください。

【CPRバルブ】





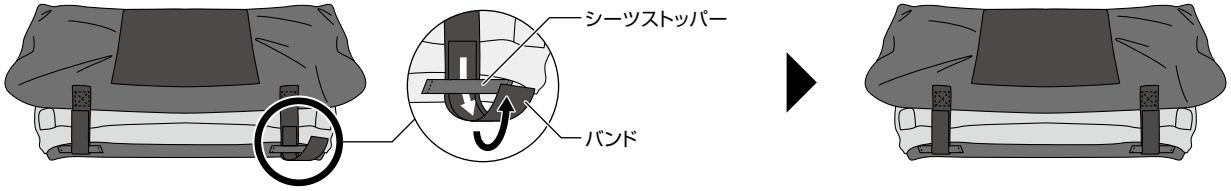
③空気が半分以上抜けたらマットレスを頭側からカバーごと丸めてたたみ、空気を抜きます。空気が抜けきるまで数回行ってください。

※荷重センサーに力をかけないように注意してください。

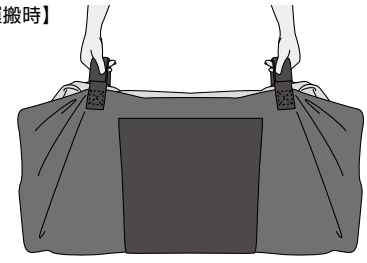
④空気を抜き終えたらCPRバルブを閉じてください。

⑤丸めた状態でバンドをシーツストッパーに通して留めてください。バンドは運搬時に持ち手として使用できます。

※図より小さく折りたたまないでください。エアホースなどが折れるおそれがあります



【運搬時】



保管の方法

⃠ 変形や破損のおそれがあるので、重量物を上に置いたまま保管しないでください。

(!) 材質や色が変化するおそれがあるので、直射日光の当たらない場所で保管してください。

(!) 電源コードとリモコンをマットレス足元側の収納ポケットにおさめてください。

(!) 変形や破損のおそれがあるので、運搬･保管の際には落下させたり衝撃が加わらないよう十分に注意してください。

(!) 浴室や湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。

※サビ･カビの発生や故障の原因になります。

仕 様

アクシオ

品番　MAXS83（83cm幅レギュラーサイズ）

●素　　材　マットカバー（上部）：ポリウレタン合皮 ※抗菌加工
マットカバー（下部）：ナイロン
上部エアセル：ポリウレタン
下部エアセル：ポリウレタン
下部フォーム：ポリウレタン
荷重センサー：ABS樹脂
背上げセンサー：ABS樹脂
ポンプユニット：ABS樹脂
ポンプユニットカバー：ナイロン
フレッシュエアダクト：エラストマー
CPRバルブ：ポリプロピレン
エアホース：塩化ビニル

●サ　イ　ズ　幅83×長さ193×厚さ17cm
（ポンプユニット部18cm）
●重　　量　10kg
●電　　力　AC100V 50/60Hz 13W
●電気代目安　約3.3円/日

■動作モード（通常・弱）時 圧切替：約5分
■リプレイスメントタイプ（ベースマットレス不要）
■3年保証
■耐荷重：180kg
■耐用年数：5年 ※消耗品は除く

本製品は日本国内専用です。
故障や発熱による事故につながるおそれがありますので
海外で使用しないでください。

開発・製造元
ISO9001認証取得

本製品の取扱説明書は下記QRコードからダウンロードいただけます。
取扱説明書

株式会社 モルテン
健康用品事業本部
www.molten.co.jp/health
札幌／仙台／さいたま／東京／名古屋／大阪／広島／福岡
製品他、各種お問い合せは
〒733-0036　広島市西区観音新町四丁目10-97-21
TEL.082-578-9226
E-mail:health@molten.co.jp
〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日／9:00～17:00
※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

2026.07